第 8 回ファジィ・システム・シンポジウムを終えて

松原 行宏*

国際文化平和都市広島市のシンボルともいえる平和記念公園、その一郭にある広島国際会議場で 5 月 26 日から 28 日までの 3 日間、第 8 回ファジィシステムシンポジウムが開催されました。1990 年当初の「ファジィ」ブームが一段落した中で開催された本シンポジウムのテーマは「人間とファジィ理論の統合」であり、人間の特質をファジィ理論から追求していく側面から基礎的研究を盛んに行っていくことを切望したものでありました。また、このコンセプトを表現するものとして「クラインの壺」を大会シンボルとしました。

クラインの壺は二つのメビウスの帯の縁どうしを貼り合わせることににより成り立っておりますが、これまで主に制御の方向へ走っていたファジィ理論をもう一度見つめ直し、ファジィ理論と人間との関係を再構築しようというイメージを重ね合わせておりました。即ち二つのメビウスの帯をそれぞれ人間とファジィ理論に重ね合わせ、その関係が超幾何学的に関連し合っている事をイメージしたものでした。そのような期待と希望をこめたテーマで本シンポジウムの運営を行ってきました。

招待講演

特別講演

折しも、特別講演として御快諾をいただいた IBM コーポレーション副社長の三井信雄氏は、「パーソナルコンピューティングの将来」と題して、ユーザインタフェースにおけるファジィ理論の重要性を指摘され、また招待講演では、米国新進の学者で世界的にご活躍の Karwowski 教授に「The Human World of Fuzziness, Human Entropy and the Need for General Fuzzy Theory」という演題で人間とファジィシステムについての話をうかがいました。両講演とも、初日、2 日目の午前中というスケジュールにもかかわらず、約 300 名の方が熱心に聴講され大きな反響を呼んでいたことについては、「人間とファジィ理論の統合」というテーマの意義を改めて再確認されました。

シンポジウムでの発表件数は毎年増加の傾向を示しており、今回では一般講演 175 件(第 6 回 124 件、第 7 回 168 件)、デモンストレーション 4 件の発表となり、昨年より 4% 強の増加となりました。他方、シンポジウム参加者数は 426 名(うち懇親会参加者 162 名)と例年より若干減少した結果となりました(第 6 回: 545 名、第 7 回 514 名)。発表件

* Yukihiro MATSUBARA
広島大学 工学部

数増にもかかわらず参加者数減となった原因には、シンポジウム開催が地方であった点も挙げられると思いますが、大きな原因としては、昨年末のバブル経済崩壊に伴う不況感が連名発表者等のシンポジウム参加の足に対して影響を及ぼしたのではないのでしょうか(これは筆者の勝手な推測ですが……)。

懇親会では162名もの多数の方々が思い思いに親交を深められました。実行委員長挨拶及びシンポジウム開催校を代表して広島大学工学部長佐々木和夫氏の挨拶に引き続いて、今回のシンポジウムの目玉であった、ファジィ理論に基づいて醸造された酒を用いた鏡割りが行われました。参加者にはシンポジウム特製のマスが手渡され学会の副会長の音頭により乾杯がなされました。鏡割りの運営に関しましては中国醸造(株)の皆様方に多大なご協力を賜りました。この紙面をかりて厚く御礼申し上げます。

他方、本シンポジウムでは、シンポジウム開催に先立ちワークショップ開催を試みました。広島ではファジィに関する講習会、及び研究会が少なく、一般の方々がファジィ理論に接する機会が乏しいのでは、と言う多くの方々の意見を反映し本ワークショップでは、「やさしいファジィ理論～パソコンを使ってファジィ理論で遊ぼう～」と

懇親会風景

いうテーマでこれからファジィ理論を勉強して行こうという一般の方々を対象にして開催致しました。その結果、広島近郊の約30名の方々からの参加を得ました。地域との技術交流の場をもつ機会を得ることができたのはかなり有意義であったのではないかと思います。

次のファジィシステムシンポジウムは北海道で開催される予定です。今回、参加者数は伸び悩みましたが、発表件数は年々増加しておりますので、景気の回復とともに更に盛大なシンポジウムになる事を切望しております。そして人間とファジィ理論の統合が更に進んでいく事を願って止みません。

最後になりましたが、当方の不慣れな為、多数の不備、ご迷惑をおかけした点につきまして、この場を借りて深くお詫び申し上げます。また、会員の皆様方をはじめ、本部事務局の方々、そして実行委員の皆様方には多大はご協力を賜りありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

〔問い合わせ先〕

〒724 東広島市鏡山 1-4-1

広島大学 工学部

松原 行宏

TEL: 0824-22-7111(内)3481

FAX: 0824-22-7195

e-mail: matsubar@mng.sys.hiroshima-u.ac.jp

懇親会風景